

【参考】「ActivateHR」について（プロジェクト発足時リリースより）

■発足の背景：多様な働き方を希望する求職者は 2.4 倍に拡大するも、受け入れにポジティブなのはわずか 1 割未満

労働力人口の減少や働き方改革の推進により、人材不足および企業の採用難が続く中、有効求人倍率は 1.61 倍（※1）と依然高い水準で推移しています。また、副業の解禁やフリーランスの増加、新卒採用の自由化など、人と仕事を取り巻く環境が変化しています。加えて、女性の就業者数が初めて 3000 万人を突破し（※2）、出産や育児をきっかけとして、30 代を中心に女性の就業率が下がる「M 字カーブ」が解消しつつあるなど、少しずつ働き方が多様化しています。

多様な働き方を希望する求職者数は 5 年間で 2.4 倍にまで増加しており、その目的も、女性や既婚者を中心とした「家事や育児などと両立したい」の 7~8 割から、「自身の勉強などと両立したい」が約 3 割、「W ワーク希望」が約 2 割など、さまざまな広がりを見せています。（※3）

一方、企業では、人事担当者の 8 割が「求めるスキルの人材がなかなか見つからない」と、『即戦力』を切望しているものの、時短や多様な働き方に「非常に興味がある」層は 1 割未満（※4）にとどまり、多様な働き方を希望する求職者の活躍の場はまだまだ限られているのが現状です。

（※1）厚生労働省発表 2019 年 6 月「有効求人倍率」より （※2）総務省発表 2019 年 6 月「労働力調査」より
（※3）パーソルテンプスタッフ「FlexibleCAREER」首都圏登録スタッフデータより （※4）2019 年 7 月 ActivateHR プロジェクト調べ 首都圏の企業人事採用担当・責任者回答より

■概要：多様な人材の活躍を推進し、企業の成長を支援する協業プロジェクト「ActivateHR」を発足し、企業へ働きかける

そこで、パーソルテンプスタッフ株式会社、株式会社ピーススタイル、株式会社リクルートスタッフィングの 3 社は、2019 年 8 月に企業の枠組みを超えたプロジェクト「ActivateHR」を発足いたしました。プロジェクト名称「ActivateHR」の「HR」は Human Resources の略で、人事だけでなく、働く人そのものや働く環境、制度、仕組み、考え方などを、「Activate」= 活性化するためのきっかけになりたいと考えています。

イベント、勉強会および同プロジェクトのホームページなどを通じて、企業の成長や人と企業の在り方に関する気付きやヒントを提供し、これまでの価値観にとらわれない、新しい働き方や働く場所、機会の提案も積極的に行うことで、「多様な人材を受け入れてみたいけれど、前例がなく不安」という人事担当者や受け入れ部署の心理的な障壁を取り除き、「マインド変化」を推進することで、企業の成長を支援してまいります。